

文化財保存活用地域計画に関するアンケート

返信・問い合わせ先

水俣市 教育委員会 教育課 生涯学習室

〒867-8555 熊本県水俣市陣内1丁目1番1号

電話：0966-61-1639 FAX：0966-63-9502

アンケート実施期間

2023年1月23日（月）～2月12日（日）

スマートフォンをお使いの方は
こちらからもご回答いただけます。



1 あなた自身について可能な範囲で教えてください

①年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代～
②お住まい	水俣市 区（区がわからない場合は、町名等を記載ください）
③水俣市での居住年数	☐ 5年未満 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 10年以上20年未満 ☐ 20年以上30年未満 ☐ 30年以上

2 あなたは水俣市の文化財や歴史に興味・関心がありますか

☐ ある ☐ どちらからと言えばある ☐ どちらかと言えばない ☐ ない ☐ わからない

3 問2で「ある」「どちらかと言えばある」と回答した方におたずねします 水俣市のどのような文化財に興味・関心がありますか（複数選択可）

- ☐ 寺社や仏像 ☐ 町並み、街道跡など歴史的な景観 ☐ 古い建物、建造物 ☐ 石橋
☐ 徳富蘇峰・蘆花に関連する施設（水俣市立蘇峰記念館・徳富蘇峰・蘆花生家） ☐ 遺跡や出土品
☐ 城跡 ☐ 西南戦争に関連する遺跡や資料 ☐ 滝や棚田などの美しい景色や眺望の良い場所
☐ 地域の祭りなどの伝統行事 ☐ 昔の農業や漁業、生活に使われていた道具 ☐ 美術品、工芸品
☐ 巨木 ☐ 稀少動植物やそれを育む自然 ☐ 歴史的な古文書や書籍 ☐ 民話や伝承、民謡、踊り
☐ 水俣市の歴史に関わる人物や水俣市出身の人物
☐ その他（ ）

4 問2で「ない」「どちらかと言えばない」と回答した人におたずねします あなたが地域の文化財に興味・関心がないのはなぜですか（複数選択可）

- ☐ 実際の生活に直接関わりがない ☐ 難しい・わかりにくい ☐ 身近にない
☐ 自分にはあまり関係がない ☐ 時間に余裕がない
☐ その他（ ）

5 あなたは水俣市が文化財や歴史的な資源が豊富なまちだと思いますか

☐ そう思う ☐ どちらかと言えばそう思う ☐ どちらかと言えばそう思わない ☐ ない ☐ わからない

6 あなたは水俣市の文化財や歴史にどのようなイメージを持っていますか（複数選択可）

- ☐ 大切な宝物・誇り ☐ 魅力的な街の形成や観光、産業振興に重要なもの
☐ 未来へ伝えていくべきもの ☐ 厄介で面倒なもの ☐ 難しいもの、よくわからないもの
☐ 自分にはあまり関係がないもの ☐ 特にない ☐ わからない
☐ その他（ ）

次のページにもアンケートがあります

7

次の水俣の歴史や文化などに関する記述のうち、あなたが知っているものはどれですか（複数選択可）

- ☐ 山地が多く平地が少ない ☐ 稲作にはあまり適さない土地で、水田や水の確保に大変な苦勞をしてきた
☐ 古代から中央と地方をつなぐ大きな道が通り、熊本方面から鹿児島方面へ行き来するための交通の要所だった
☐ 水俣川と湯出川は、昭和7～9年に河川改修が行われるまで、海まで別々に流れていた
☐ 河川改修前までは、浜町や川岸の船着き場で物流や人の流れが多くにぎわっていた
☐ 南九州に分布する形式の古墳が見られることから、その時代は熊本北部と異なる文化圏であった
☐ 江戸時代まで肥後と薩摩との争いが多く、防衛が重要であったことから水俣城等が築かれていた
☐ 徳富蘇峰や蘆花などの偉人を生んだ教育的な風土がある
☐ 河口や海岸部などに塩田があり、塩づくりが行われていた
☐ 江戸時代からろうそくの原料となるハゼノキが植えられていた
☐ 明治時代以降、工場の立地や河川改修などで街並みが変わった
☐ 水俣病公害防止事業によって水俣湾の埋め立てが行われるなど、海岸線が変わっている
☐ 公害を教訓にしたゴミ分別収集や、環境産業の誘致など、環境保全や自然との共生に力を入れている
☐ 海岸線は北はリアス海岸、河口部は遠浅、南側は袋状になった袋湾など変化に富んでいる
☐ わからない ☐ ない
☐ その他（

)

8

現在、水俣市では文化財を守る取り組みを行っていますが、ご存じのものはありますか（複数選択可）

- ☐ 徳富蘇峰・蘆花生家、水俣市立蘇峰記念館の公開・保存修理 ☐ 無田湿原の保護
☐ 指定文化財となっている巨樹の管理 ☐ 遺跡の発掘調査 ☐ 昔の農具などの保管
☐ 文化財の維持管理や民俗芸能を継承する活動への支援 ☐ 文化財パンフレットの刊行や配布
☐ わからない
☐ その他（

)

9

文化財を保存し、次世代に継承していくことは必要だと思いますか

- ☐ 必要 ☐ どちらかと言えば必要 ☐ どちらかと言えば必要ない ☐ 必要ない ☐ わからない

10

問9で「必要」「どちらかと言えば必要」と回答した人におたずねします
水俣市の文化財を適切に継承していくために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか（複数選択可）

- ☐ 文化財の保存修復 ☐ 文化財の防犯・防災対策
☐ 文化財に多くの人が立ち寄れるための整備、文化財が見やすく、分かりやすくなるための整備
☐ 文化財に関する情報発信 ☐ 歴史や文化財を知る機会の充実（講座など）
☐ 歴史や文化財に親しむ機会の充実（祭りやコンサートなどのイベント）
☐ 歴史や文化財の調査研究の推進
☐ 案内ボランティアの育成 ☐ 地域や所有者、ボランティアによる文化財の管理や修繕などに対する支援
☐ 文化財の看板、案内板の充実 ☐ 伝統芸能や技術などの継承者の支援
☐ 学校教育における郷土史学習の充実や文化財の活用 ☐ 資料館などの展示施設の整備
☐ 歴史や文化財を活用したまちづくり、観光 ☐ わからない ☐ ない
☐ その他（

)

11

問9で「必要ない」「どちらかと言えば必要ない」と回答した人におたずねします
あなたが文化財を保存し、次世代に継承していくことは必要ないと思うのはなぜですか
(複数選択可)

- ☐ 実際の生活に直接関わりがない ☐ 自分にはあまり関係がない ☐ 厄介で面倒
☐ 難しい・わかりにくい ☐ 残しても意味がない ☐ 税金の無駄遣い
☐ その他 ()

12

水俣市の文化財のうち、保存や活用に力を入れてもらいたいものは何ですか (複数選択可)

- ☐ 寺社や仏像 ☐ 町並み、街道跡など歴史的な景観 ☐ 古い建物、建造物 ☐ 石橋
とくとみそほう ろ か ☐ 徳富蘇峰・蘆花に関連する施設 (水俣市立蘇峰記念館・徳富蘇峰・蘆花生家) ☐ 遺跡や出土品
☐ 城跡 ☐ 西南戦争に関連する遺跡や資料 ☐ 滝や棚田などの美しい景色や眺望の良い場所
☐ 地域の祭りなどの伝統行事 ☐ 昔の農業や漁業、生活に使われていた道具 ☐ 美術品、工芸品
☐ 巨木 ☐ きしょう 稀少動植物やそれを育む自然 ☐ 歴史的な古文書や書籍 ☐ 民話や伝承、民謡、踊り
☐ 水俣市の歴史に関わる人物や水俣市出身の人物 ☐ 地名
☐ その他 ()

13

水俣市の文化財を保存し、次世代に適切に継承していくために、
あなたが協力できそうなことや考えられそうなことを教えてください (複数選択可)

- ☐ 文化財の清掃活動などへの参加 ☐ 文化財に関する講座やイベントなどへの参加
☐ 伝統芸能を教える・学ぶ ☐ 文化財を守る活動への寄付
☐ 文化財の案内や、調査、保存修理などにおけるボランティア
☐ 歴史や文化財を調べたり、研究する ☐ 地域の祭りや伝統行事への参加
☐ 歴史や文化財に関する SNS などを活用した情報発信
☐ わからない ☐ ない
☐ その他 ()

14

あなたが未来に伝えたいと思う水俣市の文化財や、
水俣市の歴史や文化に関連するものは何ですか (複数選択可)

- みなまたしりつそほうきねんかん ☐ 水俣市立蘇峰記念館 とくとみそほう ろ か ☐ 徳富蘇峰・蘆花生家 とくとみそほう ☐ 徳富蘇峰の業績 とくとみろか ☐ 徳富蘆花の業績
とくとみそほう ろ か ☐ 徳富蘇峰や蘆花に関連する記念碑 ふちがみもうせん たにがわけんいち ☐ 淵上毛銭や谷川健一など文化人の業績
☐ じんないかんぐんぼち 陣内官軍墓地などの西南戦争に関連する遺跡 ☐ 水俣城などの城跡 ☐ 神社やお寺
☐ 小さなお堂や道ばたの神様 ☐ 石橋 ☐ さつまかいどう 薩摩街道
☐ ぼうおど 棒踊りなどの地域に伝わる芸能 ☐ なんぶくじかいづか いしとびいせき 南福寺貝塚や石飛遺跡などの遺跡
☐ すすばるじんじや 薄原神社のナギノキなどの巨木 ☐ むたしつげん 無田湿原 ☐ たなだ 棚田の風景 ☐ 茶畑の風景
☐ 川 ☐ 海岸 ☐ 温泉 ☐ 滝 ☐ ハゼの木
☐ やはすだけ 矢筈岳のような高い山々 ☐ 方言 ☐ 民話や伝承 ☐ せりふね 競舟大会
☐ 水俣病の教訓 ☐ 分別収集 ☐ 豪雨災害の教訓 ☐ 日本一長い運動場
☐ 豊かな自然 ☐ 生き物 ☐ 地名

次のページにもアンケートがあります

15

問 14 の選択肢にあげたもののほか、あなたが未来に伝えたいものがあれば教えてください
(水俣市らしいと思う食文化やくらし、地域で守られてきた風習、行事、伝統的な技術、場所、
キーワードなどでも構いません)

16

最後に、文化財の保存活用に関して要望やアイデアがありましたら、ご自由にお書きください

アンケートへのご協力、ありがとうございました